



第392号

令和4年12月15日

令和4年度 第49回鬼無里文化芸術祭

新本館で開催



鬼無里にマイケル・ジャクソンが来た！？（舞台発表「スリラー」）



鬼無里小学校合奏「パフ」



カナリヤ合唱「人生に乾杯」

令和4年度実施概要

- ・ 開催日 11月2日（水）
3日（木）
4日（金）
- ・ 来場者数 （3日間延べ数） 271名
- ・ 作品出展数 441点
- ・ 舞台発表出演者数
個 人 2名
グループ 9グループ
- ・ 演目数 31演目

令和4年度第49回鬼無里文化芸術祭は、11月2日から4日までの3日間鬼無里公民館で開催されました。支所2階をすべて使った開催は、今年4月に支所内へ移転して初めてでした。

展示発表会場と舞台発表会場が同じフロアでよかったという反面、舞台発表の会場となった「視聴覚ホール」は、旧鬼無里村議会議場を改修したもので、客席内の段差は当時のまま利用しています。手狭な感じがしましたが、地域の皆様の日頃の練習の成果を思う存分発表できたのではないかと思います。

時節



◇紅葉
奥裾花溪谷の赤黄色橙など色とりどりの紅葉が太古の岩と裾花川の清流に映え美しい景観を見せてくれたが、訪れる観光客は年々減少している。妙高戸隠連山国立公園への編入の動きが進んでいると聞くと、この機会に集客アップにつながる方法を模索していくことが望まれる。

◇移住・キャンプ場
廃止された市有樽池運動公園を、埼玉県出身の夫婦が購入した。移住し自力で整備し、通年営業のオートキャンプ場「鬼無里ランタンヴィレッジ」をオープンした。10月に開業して以来60組が訪れたという。オーナーは「肉眼で天の川が見られる星空が「押し」だいたい、あえて街灯などは設置していないという（信毎記事参照）。地区内には遊休市有施設や空き家などが多く点在しており、公民連携して活用方法を検討してはどうだろうか。

◇文化芸術祭

鬼無里公民館が移転して初めての文化芸術祭が開催された。舞台発表の会場となった視聴覚ホールは、旧村議会議場を改修して活用している。昨年までの会場に比べ狭くなり、観客が全員入場できるか心配もあったが、皆着席することができたようだ。観客席は旧議場をそのまま利用しており、後部の座席からも舞台が見えやすくなったとの声が多くあったが、年配者や足腰の不自由な人からは「段差が怖い」との声もあった。今後の課題でもある。

(n)



写真で見る文化芸術祭

(舞台発表・展示発表)



小学校5、6年生有志による
ダンス「ハンドクラブ」



両京分館仕舞「紅葉狩」



唱歌と童謡を愛する会 合唱



二人の息がピッタリの「パネル
シアター 猫のお医者さん」



紙芝居「おせん婆さん」



生きがいづくりカラオケ
グループの「歌謡曲」



南京玉すだれ すだれが…



南京玉すだれ



道開きの神様「エレグア」



フラダンス「アロハオエ」



上里分館「体力づくり登山
50回の歴史と記録」



両京分館「謡曲の解説」
上里分館「手芸講座パステルアート」



郷土史研究会「両京地区のお堂」
中央分館「来年の干支うさぎ」



楽しい山仲間「登山用品の
今と昔、制覇した山々の記録」



水彩画・パステルアート
鬼無里子どもプラザ「陶器の
カップとスノードーム」



かがやきひろば鬼無里
「押し花、陶芸」



おでやれくらぶ
「手芸講座 クレイクラフト」



ときめき講座
「フラワーアレンジメント」



鬼無里案内ボランティアの会



諏訪神社御柱祭と
長野市合併の歴史



裾花峡「1967年（昭和42年）
裾花大橋建設」



観光振興会「誕生 日本列島と
奥裾花溪谷」



手あそび仲間
「タペストリー」



手あそび仲間「キルト、
壁掛け、小物入れ」



鬼無里保育園「夏まつり
御神輿、提灯、花火」



木彫作品



鬼無里小学校「絵画と絵手紙」



鬼無里デイサービスセンター
「パステルアート」



のびのび子育て学級
「クリスマスリース」



「角文字」と「消しゴムハンコ」

鬼無里小中学校修学旅行の思い出



コロナ禍を過ごしてきた6年生は、この修学旅行が最初で最後の宿泊学習。目的地を調べ決めていくところから心踊る姿が見られました。

北陸新幹線、富山ガラス美術館、ますの寿司づくり体験、鋳物工場見学、氷見港遊覧。宿では氷見の新鮮な魚介類に舌鼓。2日目は氷見駅から電車を乗り継いで富山駅へ。路面電車移動し水上バスで運河を体験。富山ブラックラーメンで旅を締めくくりました。

笑顔いっぱい、思い出いっぱい。修学旅行となりました。

せっかく秋に実現した修学旅行だから「嵐山トロッコ電車」に。紅葉には少しばかり早かったが、保津川渓谷の眺望は格別だ。2日目の夜、早めの夕食を済ませ再び街へ。「秋の特別夜間拝観」を楽しむ。本校生徒にだけ許された夜の京都。祇園も八坂も幻想的な姿を見せ、高台寺では鏡のような池に映る紅葉した木々と闇夜にまっすぐ天へと伸びる竹の姿に息を呑む。解散する生徒たちの顔が、少し大人び頼もしく見えた。

(鬼無里中学校3学年 担任 和田茂久)

わたしの作品

俳句

連山を彩る紅葉や里の秋

百歳も楽じゃないよと苦笑い

もしかめを歌えば園児手をたたき

(もしかめー童謡「うさぎとかめ」のこと)

着々と道はひろげど空き家増え

短歌

霜の朝陽の射し入りて白菜の畑に淡き湯気立ちのぼる

八木政太郎 〈東京都〉

久々に人であふれし夏まつりスターマインに歓声拍手

山口信雄 〈蒲田〉

皆様の杖になりたし我体笑に誘われ今日も訪問

宮下米子 〈西京〉

山口信雄 〈蒲田〉

2週連続の豪雨災害

北部土木事務所調べ

■ 7月27日発生豪雨災害 雨量 ■ 8月6日発生豪雨災害 雨量

観測	時間	24時間	観測	時間	24時間
鬼無里(山大)	65mm	96.5mm	鬼無里(支所)	42mm	79mm

(単位: 件、千円)

地区	7月27日		地区	8月6日	
	被災件数	復旧見込概算額		被災件数	復旧見込概算額
上里	46	228,700	上里	11	20,900
	17	10,050		5	1,400
中央一	5	3,700	中央一	8	4,700
	8	3,350		6	2,100
中央二	0	0	中央二	13	7,900
	2	750		22	11,800
両京	6	6,500	両京	6	15,000
	9	28,400		0	0
計	57	238,900	計	38	48,500
	36	42,550		33	15,300

被災状況 (上段) 公共土木災害(道路、河川) (下段) 耕地災害(田、畑、農業用施設)

鬼無里地区人口

(令和4年12月1日)

世帯数 594 (-6)
 総人口 1,151 (-19)
 男 530 (-12)
 女 621 (-7)

()内は令和4.6.1との比較増減
 表紙の題字 一色白泉氏(書家)



8/6 発生豪雨災害(瀬戸)



「勤労感謝の日」園児手づくりのツリーをもって来館しました。ありがとうございます(^)/